

シナリオ1：祐樹—困難な時期を乗り越えるときに助けになるもの（マタイ14：13-23）

新約聖書 セミナリー手引き

マタイ14：1-12を読むと、バプテスマのヨハネがヘロデにによって斬首されたことが分かります。友人であり、いどこでもあったヨハネが殺されたとお聞きになったときのイエスの気持ちを想像してみてください。

マタイ14：13-23で救い主が行われたことを研究し、次の原則を見つけて、その原則を示す証拠に印をつけてください：わたしたちは自分が困難を経験しているときでさえ、憐れみを示し、人々に仕えることによってイエス・キリストの模範に従うことができる。「寂しい所」（13節）とは、一人になれるような場所を指していることに留意してください。

- この原則が読み取れる節には、どのようなことが書いてありましたか。
- バプテスマのヨハネが殺されたことを知らされた後でさえ、イエスはどのようなことをされましたか。
- 主が示された無私の奉仕の模範は、苦しんでいる人にとってどのような助けになると思いますか。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、どうすればキリストのような特質を伸ばせるかについて述べました。



「品性は、自分が苦しんでいるときに他の人の苦しみを見極める力、自分が飢えているときに他の人の飢えに気づく能力、自分が霊的な苦悩の最中にいるときに他の人の霊的な苦しみに対して手を差し伸べ、思いやりを示す力において明らかになります。ですから、人格は、わたしたち一人一人の中にある生まれながらの人の本能的な反応が内向きで自己中心的であるときに、外側に目を向け、手を差し伸べるという形で示されるのです。……

……事実わたしたちは、死すべき人間ではありますが、まさに今自分に降りかかっているのと同じ大きな問題や逆境に遭遇している人に手を差し伸べてきちんと助けることができる能力に関係のある霊的な賜物を求めて、義にかなった努力をすることができるのです。

わたしたちは、そのような能力を、自らの意志や個人的な決意だけで得ることはできません。『聖なるメシアの功德と憐れみと恵み』が必要です（2ニーファイ2：8）。」（David A. Bednar, quoted in Sarah Jane Weaver, “Elder Bednar Addresses ‘the Character of Christ’ during 2019 Mission Leadership Seminar,” *Church News*, July 9, 2019）

学んだことを分かち合う準備をする際は、ほかの人に奉仕したときのことをよく考えてください。

- 自分が悩んでいるときに、キリストのような奉仕をすることが助けになるのは、なぜだと思いますか。